

人気商品、 お色直しでグレードアップ！



POINT

デザイン支援の活用で
より手に取りやすいものに
仕上がりました



レディースファーム

代表
米田 敦子 Maita Atsuko
〒018-5201
鹿角市花輪新斗米55番地
TEL.0186-25-2209
FAX.0186-25-2209

「もったいない」から始まるものづくり

鹿角市のレディースファームは、農協女性部の活動を経て、「野菜、果物だけでなく加工品も販売したい、自分たちの作った作物を無駄にしたい」という思いから、平成12年に10名ほどで直売所を設立したことから始まった農産品加工所。

商品の多くが、地元産の規格外のりんごや桃を使ったお菓子。現在は道の駅での販売や鹿角市のふるさと納税の返礼品となっており、立ち上げ当初からロングセラーのアップルパイは、ふるさと納税で長年トップを誇る人気。桃のコンポートは、発売以来、毎年2,000個、4,000個と生産量が増えており、昨シーズンは1万個を製造したという。

止まることを知らない、商品開発の意欲

このたび、商品の一つ「桃ジャム」のパッケージがリニューアルとなった。これは、コンポートの製造過程で形が崩れたものなどを煮込んだもので、ゴロンと大きな桃の果実が味わえるのが特徴だ。

「子どもたちにせがまれて買ったが、美味しくてすぐに食べ終わってしまった」という声もある人気商品だが、店頭で他社の商品と並ぶと目に触れにくく、手に取ってもらえないということで、センターに相談。目的や商品の費用感、デザインの方向性などを整理した後、爽やかな手描きのイラストと、大小のサイズ展開がなされ、より手に取りやすいものに仕上がった。

今回に限らず、商品化にあたっては立ち上げ当初からセンターを頻繁に活用してきた。

「これ、どうしたらいいんだろう？何か補助事業ありませんか？などと、いつも相談してきました。今回のリニューアルにあたり、ジャム瓶を大きなサイズのものにすることに抵抗もあったんですが、できたらかわいくてとても気に入っています」と、代表の米田敦子氏。

立ち上げから約20年。現在は米田氏による個人事業となり、メンバー同士も歳を重ねたと笑うが、注文は増える一方で、新商品開発などへも余念がない。彼女たちの意欲は止まることを知らないようだ。



▶活用事例

産業デザインに関する助言

産業デザイン、製品開発、マーケティング等についての専門的な助言やデザイナーとのマッチング、コーディネートを支援します。

[お問い合わせ]

知財・デザイン支援課 TEL.018-860-5614